

発 行

福井県大野市天神町1番1号
大野市役所
電話(代) 6-1111
郵便番号 912

印刷 松浦印刷所



3月の人口の動き

出生	男 33	女 31	計 64
死亡	男 16	女 14	計 30
転入	男 100	女 103	計 203
転出	男 137	女 139	計 276
世帯数	10,292(前月-3)		
人口	42,672(前月-39)		
男	20,587	女	22,085



就職しています。

「仕事を覚えるのに一生懸命で、一日の時間のたつのがとっても早いです。この道を選んだのだから、がんばらなくっちゃ…。都会へ出たい気持ちもありましたが、今は将来も大野で生活しよう」と心に決めています」と吉田さんが話せば、石田君は「僕は、大野が好きだから地元で就職しました。恵まれた自然を大切に生活するのも、一つの生き方だと思います。これからは一生懸命に仕事をすると共に、青年活動にも参加したいです」と語っていました

山下君は「僕は長男だから大野に残ったのですが、仕事は自分で選んだ道だからがんばります。大野には文化人の講演会などの機会が少ないのではないでしょ

がんばっています

仕事を覚えるのに懸命

ことし市内に新しく就職した青年は約90人です。それぞれの職場で働き始めてから早や1か月たちました。

石田浩二君(19歳、中荒井三丁目)、山下亘君(19歳、蕨生)、吉田智江さん(18歳、南六呂師)は弱電関係の会社に

うか。若者の手で文化活動を盛り上げる必要があります」と、希望で胸を膨らませていました。

学校給食には約30年の歴史があります戦後まもない昭和22年、国民の栄養状態が悪い中で、子供の体づくりに少しでも役立たせようと、ミルク給食が始まりました。その後、昭和30年には完全給食の学校が出はじめ、昭和40年には市内全部の小・中学校で実施されました。この歴史の中で、学校給食のもつ意義も「体づくりの栄養第一主義」から「給食は教育である」という考え方が加わり、子供の食事を通しての指導という面で、家庭と学校とのつながりがますます大切になってきています。今月は児童福祉週間にちなんで、学校給食を考えてみましょう。



談笑しながら楽しく給食を食べる子供たち

給食は人間関係をそだてる教育

判断は子供に 足りるかな？

正午のサイレンが鳴ると給食係の児童が三角布を頭にかぶり、白衣を着、マスクをかけて、牛乳やパン、副食、食器などを調理室から各教室に運んでいきます。有終南小学校2年生の給食の時間をのぞいてみると、その日の献立は牛乳にパン、おひたし、ジャガイモのそぼろ煮でした。給食係は慣れない手つきながらパンばさみでおひたしを等分にし、食カンに入ったそぼろ煮を汁しゃくしでめいめいの食器に移していました。

「足りるかな?」「こちらは汁ばっかりになったよ」子供たちは頭をかきげながらチラリと先生の顔を見ますが、先生は無言…。自主的に作業をさせるため、根気よく見守っていました。

「合掌」「いただきます」室内には軽快な音楽が流れ、4人が1組になって談笑しながら食事を始めました。給食の時間は45分、おいしそうにパンや牛乳をたいたげの元気な子供がほとんどです。しかし、中には時間内に食事が出来ない子

供も二、三人いて、先生は「給食は残さないように食べましょうね。さあ、がんばって」と励ましの言葉をかけていました。

「きらい」は 肉・ネギなど

市内では毎日5,600人の児童生徒が、楽しいふん囲気の中で給食を食べていますが、これに問題がないわけではありません。

その1つは子供の偏食です。肉、長ネギ、ニンジンを食べられない子供が6年生になっても一割弱はいます。まして新入学児童ですと二、三割の子供に偏食がみられますし、牛乳が飲めない子供もかなりいます。

第2は食事のマナーです。学校では感謝する心を育てながら、集団の中でなかなか食事が出来るよう指導していますが、食事が極端に早かったり、反対に時間内に済まることが出来ない子どもがいます。

第3は朝食を食べないで学校へ来る子供が年々増加しており、11時ごろには空腹を訴えて勉強に精の入らない子供もい

ます。

第4は給食内容がどうしても脂肪分の取り過ぎになることです。一定の時間内に大量の食事を作る関係から油を使う揚げ物、いため物、などの調理方法が多くなります。このため、脂肪分が多目の料理になりがちです。

このような問題を解決するためには、学校給食の真の意義と実情を保護者に知っていただき、家庭での指導と学校給食での指導とが有機的なつながりをもつことが最も大切です。

食事のマナー と栄養を重視

「学校給食は教育である」といわれています。文部省の学習指導要領には「食事の正しいあり方を体得させるとともに食事を通して好ましい人間関係を育成し児童の心身の健全な発達に資する」とその目的がうたわれており、「実践の場、であることが重視されています。

給食が始まった昭和20年代は、子供の体位向上を目指す栄養第一主義でしたから、現在の考え方と比べてみると、時代の流れがはっきりと現われています。



配ぜんはすべて子供の手で

親の意見

野菜や海草類
を献立に多く

石本幸子さん (38歳 小矢戸)

家庭での食事はどうしても好きな食物に片寄り勝ちですが、給食はいろいろの材料を使って、栄養のバランスの取れた献立をして下さるので、大へん喜んでます。

今後給食に望むことは、成長期の子供が対象ですから、費用は少々高くなっても動物性タンパク質青野菜、海草類をもっと多く使っていただきたいこと、米飯給食の実施についても積極的に検討し

てほしいです。

おいしい シパ
ンへの努力を

中谷比知朗さん (43歳 要町)

給食は同じ物を同じ時間に同じ場所で食べるので、子供同志の人間関係が良くなり、偏食も少なくなると思います。また、栄養のバランスも取れているので、子供の成長の面でもよい制度です。

しかし、パンがまずいということをよく聞きます。また調理される人によって味が良かつたり悪かつたりするという事も聞きますので、より一層技術の向上を図って、おいしい給食を与えて下さい

ほしい家庭と学校の指導パイプ

しかし、現在も決して栄養を軽視しているわけではありません。

献立では、発育盛りの子供に欠くことのできない「タンパク質、ビタミン、カルシウム」には特に気を配っています

下庄、蔵生、上庄小学校などでは給食の外の、毎日午前10時にだし雑魚を3匹ずつ食べさせるなど、各学校では栄養面を十分に考慮した上で「なんでも食べられる子供になる」「食事マナーのよい子供になる」「栄養面を考えられる子供になる」などの目標を定めて努力しています

偏食なおしは 親が根気よく

大野市で完全給食が始まって約20年、給食は子供の学校生活の中に定着していますが、教育としての効果を今後より一層上げるには、家庭で基本的な食事マナーの指導や、学校給食と家庭食のつながりを強化して、給食の弱点を補うなど、いろいろ配慮願わなければなりません。

具体的な事項は次のとおりです。

1. 偏食の原因をつかみ、いろいろな料理方法を工夫して根気よくおす。
2. 食事の時はテレビを消し家族団らん



調理は衛生的な施設で行われている

のうちに適当な時間をかけて食事をする。

3. 朝食は必ずとって登校させる。
4. 毎日の給食の献立を知って家庭での料理を工夫する。
5. 給食は脂肪分が多目になり勝ちですから家庭食は脂肪分をおさえる。

将来は米飯給 食もやりたい

最近、米を学校給食に使ってはどうかという声が高くなりました。食事内容を多様化して、魅力ある給食にするには必要なことであり、市内でも一部の小規模

な小学校で、実験的に米飯給食を週に何回か取り入れてあります。しかし、全部の学校で米飯給食をするには①新たに洗米機、炊飯器、貯蔵庫などの設備を備えなければならない②現在の調理員数を増加する必要がある③経費が1食につき20円程度高くなる—な

どの問題があるため、すぐには踏み切れません。それなら「ご飯はめいめいが特参して副食を学校で出したら」という意見もありますが、これはご飯の量が各人各人まちまちになるばかりではなく、「すみにつけ物を少し入れようか」「好きな物をちよつとぐらい添えてもいいだろう」という気持ちが働き、同じ条件で同じ物を食べ、子供たちが自主的に協力して行う作業、すなわち実践教育の場、の願いが失われてしまいます。学校給食への米の導入については、市は完全給食の建て前を崩すことなく、将来実施するよう研究を進めています。

中挟中野
大橋線

1億6,321万円で完成

交通緩和に大きな役割



新町交差点から中挟中野大橋線を望む

都市計画街路中挟中野大橋線の、旧京福電鉄軌道敷地と中荒井区の約130mの舗装工事がこの程終

物件移転に4,681万円、舗装に4,966万円計1億6,321万円かかりました。

全長が777.9m、道の幅16m、そのうち車道9m、両側には3.5mずつの歩道を設け、10m間隔にアカシヤを植えました。

これからは国道157号線と158号線を最短距離で結ぶ道路として市街地の交通緩和に大きな役割を果たすこととなります。

北部土地区画整理事業地域の第1号公園として、寺前公園2,400平方mが完成しました。工費は600万円です。

園内の西側には、直径5m高さ2mのテントウ虫の滑り台がユーモラスな形でドッカと座り、その横に砂場や休憩所が設けられています。

周囲には桜50本ツツジ150本が植えら

ぼくらの愛称は

テントウ虫広場

寺前公園600万円で完成

れて、明るく楽しい公園になりました。

近所の子供たちは大きなテントウ虫の滑り台が大へん気に入り「テントウ虫広場」と呼んでいます。

この土地区画整理事業地域37.2haの中には、4つの公園を造る計画で、ことしはさくら公園2,100平方mを整備する予定です。



北部土地区画の第1号公園として完成した寺前公園

スマイル

「耳鼻更生相談無料」
ハナハナミミよりな話ですな
——市民

お知らせ

◆探鳥会は16日

愛鳥週間にちなんで探鳥会が次のとおり行われますので、ご参加下さい。

〈日 時〉5月16日(日)午前5時15分から(雨天中止)

〈場 所〉亀山公園

〈日 程〉5時15分郷土歴史館前集合・開会、5時30分～7時20分野鳥観察、7時20分～8時スライド学習(大野公民館)

◆耳鼻更生相談へどうぞ

耳鼻更生相談が5月6日(木)大野保健所で行われます。県立病院の医師が相談に当たりますので、日ごろお悩みの方はお出かけ下さい。相談は無料です。

なお、当日補聴器の修理も併せて行いますのでご利用下さい。

◆少年警察協力員を委嘱

大野警察署では少年の非行防止と福祉の増進を図るため「少年警察協力員」を

次の方々へ委嘱しました。少年問題について気軽にご相談下さい。(敬称略)

- 山奥巖(日吉町)横田秀子(有明町)
- 小原君子(春日1丁目)小部皓造(日吉町)
- 浦井ひとみ(日吉町)水口久子(泉町)
- 黒原義雄(元町)木瀬正治(元町)
- 田中末広(中荒井1丁目)水瀬智恵子(新町)
- 清水長蔵(中津川)上松博道(中野1丁目)
- 関哲樹(御給)日下文枝(庄林)
- 瀬先長助(下唯野)中村秀治(不動堂)
- 坪内敏男(下麻生島)田中新治(右近次郎)



展望台と清水を結ぶ遊歩道

六呂師円山公園に新設

六呂師の円山公園に遊歩道と便所が出来ました。

新しい遊歩道は、公園南端から展望台へ通じる約130mで、途中には水場、

と約20平方mの広場を設けました。

六呂師は水に恵まれない所ですが、1か所だけは夏でも岩清水がコンコンと出ています。

この遊歩道を下りますと自然に水場へたどり着けますので、春の行楽には一度散策して下さい。

また、便所は駐車場横に造りました。市は昨年度この遊歩道と便所の工事に合計500万円をかけました。

特別豪雪地帯に指定される

学校改築に補助増額

大野市は4月15日に豪雪地帯対策特別措置法に基づく「特別豪雪地帯」に指定されました。

この法律は、積雪によって産業の発展や住民の生活水準の向上が阻害されている地域について雪害を防除し、産業の基礎条件の改善を図り、その振興と民生の安定向上に努めることを目的としています。

具体的な恩典としては、小・中学校の増・改築をする場合に、国庫補助のかさ上げがされる外、市道のうち建設大臣が「基幹道路」と指定した道路の改築については、県が代替施工をすることが出来るなどがあります。

今回の追加指定を受けたのは、新潟県の柏崎市、本県の池田町、今庄町など16市町村で、これまでの指定を合わせると全国で207市町村になります。

新しい遊歩道を
散策して、自然
に親しむ市民



③⑥ 砂山

七面大明神

大野郡誌に「洞雲寺後の小丘戌(犬)山の山嘴にてその南端に七面神の小祠を安んず。全山赤砂丘頂巾五間半……」とある砂山は、旧藩政時代には丘頂は武士の練成場であり、ふもとはマツタケの産地として、町民がひさご(瓢)を携えての行楽地でありま



した。登り口に七面大明神の立碑があります。七面さんは法華経守護神で古くから円立寺が守り、その堂は荒廃する度に住職と信徒の力で再建されてきました。寺の記録によると、明治14年

には24世文海上人、昭和42年には32世日稔上人が再建に努められました。祭日は5月19日と9月19日です。宗旨如何にかかわらず人心の憩いの場として景観は抜群です。御神体は立像で見延七面山の座像のより古いものであると言われてい

◆消費生活モニターを委嘱

大野市消費生活モニターを次の方々に委嘱しました。モニターは商品の規格や表示、価格、食料品公害などの問題について消費者から苦情や意見を聞き、また調査をして市の消費行政へ反映させる役割をします。

ご意見、苦情をお寄せ下さい。

(敬称略)

松井欣子(泉町)坪内好子(月美町)
加藤照子(本町)長谷川佳子(春日2丁

目)島田綾子(高砂町)北野美智子(高砂町)四方まゆみ(中野町1丁目)松森はるの(春日3丁目)山岸利志子(泉町)幅口紀子(有明町)梶原千代子(中荒井)遠藤つ与子(城町)野田佳江(春日2丁目)高橋順子(水落町)

◆人事移動

4月1日付け係長以上()内旧任

【市長部局】▶生活環境課長沢田武雄(保健衛生課長)▶保険衛生課長吉村吾一(企画財政課長補佐)▶企画財政課長補佐兼

財政係長中兼惣右衛門(農務課長補佐)▶企画財政課長補佐兼企画係長森川昭一(北部保育園長)▶農務課長補佐兼振興係長松田次男(企画財政課長補佐)▶北部保育園長高橋道代(北部保育園)

【教育委員会】▶郷土歴史館長岩崎正▶市史編さん室長俵勇【大野地区消防本部】▶消防長伊藤一郎(次長)▶次長大久保光男(次長補佐)▶庶務課付田中恵(生活環境課長)▶退職大谷勉(郷土歴史館長)



◆戸籍の謄・抄本1通200円に

戸籍手数料金令の改正により、5月1日から戸籍の謄・抄本の手数料は、枚数に関係なく一通につき200円になりました。謄・抄本等を郵便で請求される時は、必ず現金書留か定額小為替で手数料と返料を納めて下さい。定額小為替の料金は、1,000円以下の送金の場合10円です。改正の主なもの次は次のとおりです。

戸籍の謄・抄本	1通	200円
除籍の謄・抄本	1通	300円
戸籍の記載事項証明	1件	100円
除籍の記載事項証明	1件	200円
受理証明書	1通	100円
上質紙使用の婚姻届等の受理証明書	1通	800円
戸籍簿の閲覧	1戸籍	100円
除籍簿の閲覧	1戸籍	200円
届書類の閲覧	書類1件	100円

◆福祉年金証書を市役所へ

老齢・障害福祉年金を受けておられる方は、5月分の支給を受けられましたら年金証書を5月25日までに市役所市民課または近くの公民館(大野公民館を除く)へ出して下さい。昭和51年度の年金額を記入して、後日、本人にお返しします。

◆大口の土地売買は届け出が必要

国土利用計画法により、都市計画区域では5,000平方メートル、それ以外の地域では1万平方メートル以上の土地売買等の契約を締

結しようとする場合は、市を經由して県知事に届け出ることが義務づけられています。

また、届け出後6週間以内は契約を締結してはならないことになっており、届け出をしなかったり、偽りの届け出をしますと罰せられます。

詳しいことは市企画財政課企画係(6-1111内線 233)へお尋ね下さい。

◆救急法講習会に受講を

体育・スポーツ安全救急法講習会が5月9日午前9時から市役所で行われます。内容は災害予防と応急措置の方法等でどなたでも参加出来ます。受講は無料。

◆あなたもオリエンテーリングに

市民オリエンテーリング大会(地図と磁石を頼りに目的地へ歩く競技)が、5月23日(日)午前9時から市役所を出発点として行われます

親子、グループで参加して楽しいひと時を過ごして下さい。希望者は5月20日(木)までに氏名、住所を市体育課へ。



◆飯降山市民登山は6月5日

恒例の飯降山市民登山は、6月5日(土)午後3時に市役所前を出発して午後8時下山の予定で行われます。

参加希望者は午後2時30分までに市役所前集合して下さい。携行品として軍手、水筒、弁当、雨具、長そでシャツ、長ズボン、懐中電燈などが必要です。なお、雨天の場合は中止します。

今月の納税

軽自動車税 全期分
固定資産税 第1期分
31日までに納めて下さい。

◆16日にサイクリング大会

春季市民サイクリング大会が、5月16日(日)午前9時から午後3時まで、市内巡回コース約20キロで行われます。

午前8時30分に市役所前に集合して、9時に出発します。小学校5年生以上の市民ならどなたでも参加出来ます。希望者は5月13日(木)までに氏名、住所を市体育課(6-1111内線 406)へ申し込んで下さい。当日は昼食が必要です。

なお、雨天の場合は中止します。

◆成人大学受講生を募集

成人大学運営委員会は、昭和51年度の受講生を次のとおり募集しています。

<資格> 大野市の一般成人

<申し込み期日> 5月8日(土)まで

<申し込み> 氏名、住所、年齢、職業を市教育委員会社会教育課(6-1111内線 405)へ

<受講料> 2,000円

<学習内容> 「あすの大野市を知ろう」を年間の主題にして、月に1回「市の道路計画」「市街地づくりの構想」などいろいろの分野を学習します。

◆献血に協力を

10日(月) 国鉄越前大野駅前

21日(金) 稲山織物KK前(春日2丁目)
時間はいずれも午前10時~午後3時

五月はこのことを教える。 M 生

輝き、万物の生成がこの月ほど投影するときはない。▼いまや大野の田園風景は往時とは大きく変ぼうしようとしている一枚三十アールに整然と区画された水田は、大型農機のエンジンのうなりで高鳴り、みるみるうちに作業は進展していく石器時代から鉄器文明に変わったかのように。▼しかし技術革新や産業革命は、ただそれのみを以ってしても、人間の幸福に連なる断言は出来ない要素が含まれている。けだし機械万能主義や、経済優先の考え方である。そして、そこから起きる人間疎外はむしろ先進国に多い。これは一体どうしたことから。▼一言に言うならば、機械には情緒がないことであるこれを農業に当てはめてみると、以前の田園風景はまことにのどかで、牧歌的であった。レンゲ草のジュウタンの中で子供たちは寝ころび、アヤマ咲く小川のほとりに魚を求めた。祖先たちが血と汗で築いた段丘の石垣には野イチゴが実った子供たちはそれらの遊びの環境の中で労働の尊さを教えられた。▼それが現代は一樣に平均化され、単純化されようとしている。それ程、自然の開発は破壊との裏腹にあつて、むしろそれを無視してはある程度後進性は免れない宿命を持っている。▼しかし、われらに残されたこの課題を避けて通る道はない。人間としての信頼性と、あくまで自然との融合の中で築いた人類の文化を失いたくない。



風見鶏

風薫る五月は自然と人間が溶け合う絶好の季節である。自然のいざないが強烈新鮮であり、自然が生きて